

シェークスピアから魯迅まで
海外の作家543人のプロフィールと最新関連図書を一覧

読書案内 世界の作家 伝記と作品 新訂版

日外アソシエーツ 編

A5・380頁 定価(本体3,000円+税) ISBN978-4-8169-1730-1 2002年7月刊行

解説を通読すれば この一冊で
世界文学史の概要を俯瞰できます

- 古代から現代まで、海外の作家543人についてプロフィールと最近刊行された伝記・評伝・自伝・日記・書簡・作家論・作品論が一覧できる図書目録です。
- 文学史の教科書に登場するような作家を網羅しているため、学校の授業の資料としても便利です。
- 『読書案内・伝記編 世界の作家』(1996年刊行)の新訂版です。

好評発売中

併せてご利用ください

読書案内 日本の作家—伝記と作品 新訂版

日外アソシエーツ 編 A5・430頁 定価(本体3,000円+税)
ISBN978-4-8169-1717-2 2002.5刊

内容見本

ドストエフスキー, F.

Dostoevskii, Fyodor Mikhailovich

1821.10.30~1881.1.28

ロシアの小説家。医者の息子としてモスクワに生まれ、海軍工兵学校在学中、父親が虐待した農奴により殺害されるという事件に大きな衝撃を受けた。軍を辞した後、1845年の処女作『貧しき人々』が批評家に激賞され一躍文壇の寵児となったが、社会主義グループに接近して弾圧を受け、49年シベリア流刑となった。10年後ベテルブルグに帰還してからは精力的な執筆活動を再開。『罪と罰』『白痴』『悪霊』『カラマーゾフの兄弟』など後世に残る代表長編作品を生み出した。晩年は思想的に反動・保守に“転向”したが、その宗教観・倫理観と、19世紀においてもっとも深遠といわれた思索態度は絶賛され続けており、世界の作家の地位を確立している。

『罪と罰』:1866年。長編小説。歪んだ道徳観に支配された苦学生ラスコーリニコフが金貸しの老婆を殺害、発覚の不安、自己正当化と後悔の念に心を苛まれていくが、貧窮の中でも逞しく生きる少女の清純さに触れ、やがて罪を告白する。悪、良心、贖罪、愛の純粹さをテーマとした世界文学史上に残る作品。

* * *

◇ドストエフスキーその対話的世界 木下豊房著 成文社
2002.2 366p 19cm 3600円 ①4-915730-33-6

◇欧化と国粹—日露の「文明開化」とドストエフスキー 高橋誠一郎著 刀水書房 2002.1 252p 19cm (比較文学叢書) 2400円 ①4-88708-287-8

2018.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	読書案内 世界の作家—伝記と作品 新訂版 定価(本体3,000円+税) ISBN978-4-8169-1730-1	冊
			冊
■お名前			